

平成29年度 課長方針

部課	水道部 業務課	課長	尾上 聡
----	---------	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・蕨市水道ビジョンの内容をしっかりと理解し、行動計画の遂行に務める。 ・課員が担当業務以外の知識を習得し、非常時にも業務が滞ることなく執行できるよう努める。 ・公営企業に従事する職員として、常に水道事業経営を意識し業務を執り行う。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
蕨市水道ビジョンにおける行動計画の実施	平成29年度に実施を予定している事業について推進	広報・広聴活動の充実を計る。水道におけるリスクに対する業務課職員の行動内容をマニュアル化し、維持管理課と連携し定期的な訓練を行う。	○	「水道とくらし」の発行及び水道週間における広報活動を実施した。 応急給水訓練への参加をした。
蕨市水道ビジョンの改訂	水道事業の方針を定めた蕨市水道ビジョンの実施状況の検証及び計画見直しの実施	策定より5年を経過するため、現状に即した内容で、平成34年までの水道事業の方針、行動計画等を定める。	◎	現状の変化や課題の変化等に対応した内容で、今後5年間に必要な行動計画等を定めた蕨市水道ビジョン(後期計画)を策定した。
経営戦略の策定	財政計画等を含めた経営戦略の策定	長期的な健全経営を行なっていくために、投資計画や財政計画を定める。	◎	経営戦略を新たに策定し、アセットマネジメントの手法に基づいた今後10年間の実現性の高い投資・財政計画を定めることにより水道事業の安定経営を実施していく。
業務継続計画(BCP)の策定	重要なライフラインである水道事業の業務継続計画(BCP)を策定	非常時においても水道水の供給を継続できるよう、詳細な業務継続計画を策定する。	◎	重要なライフラインを担う事業者の責務をを果たすため、非常時においても安定給水を実現できるように蕨市業務継続計画(BCP)を策定した。

平成29年度 課長方針

部課	水道部 維持管理課	課長	斎藤 純一
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全な水道水を安定的に供給する。 ・市長マニフェスト、水道ビジョン等計画推進は、社会経済情勢や市民ニーズの変化を反映させるよう心掛ける。 ・事業後の検証結果は、その結果を踏まえ次回計画に反映させるように心掛ける。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
配水管布設事業	配水管及び基幹配水管を整備する。	新規に耐震性がある配水管を整備することで、安定給水を図る。 布設予定延長＝670m	◎	施工計画に基づき、配水管布設工事1,151mを実施。平成29年度末、基幹管路耐震化率92.3%を確保。
経年管更新事業	老朽化した配水管を耐震性及び耐久性を備えた配水管に布設替える。	老朽化した配水管を耐震性がある管に整備することで、安定給水を図る。 布設予定延長＝290m	◎	施工計画に基づき、配水管布設替工事453mを実施。
水源設備改良事業	深井戸へ自家発電設備を整備する。	水道ビジョンに基づき、災害などの停電時にも安定して井戸水を汲めるよう、設計委託に則り、9号取水井に自家発電設備設置を行う。	◎	停電時にも自家発電設備を使用することで、既存の揚水量の約83%の揚水を可能とした。
鉛製給水管取替工事助成金事業	宅地内に残存する鉛製給水管の交換工事に伴い助成金を交付する。	宅地内に残存する鉛製給水管を解消する。	△	制度が広く認知されてきているが、個人負担が生じることから中々申請に繋がらず、減少傾向にある。

災害時における 危機管理事業	職員行動マニュアルに基づき、定期的 に訓練を実施する。	定期的な訓練を実施することで、被災時に迅速に 行動できるようにする。	◎	水道部において、災害時を想定した応急給水訓練を 実施した。
業務継続計画策 定事業(BCP)	水道事業における通常業務を整理 し、非常時に優先して実施すべき 業務を選定する。	特に被災後を想定し、早期の復旧に向け、事前対 策及び訓練計画の作成等、業務の継続に必要な 計画を策定する。	◎	各種災害時においても、重要なライフラインである水道 水の供給を継続するために必要な計画を策定した。